

本校の研究の概要および公開授業内容

R06.10.18 中学校教育研究会 研究発表



<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/nagano-chu/> (HP)



https://twitter.com/F_Nagano_JH (X)



https://www.instagram.com/shindai_fuzoku_nagano_jh/ (Instagram)



目指す生徒像

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者



考え 増やせる 社会 もつ 視点
 多様な 用いる 自ら 見つける
 様々な 多角 実践 多角的 広げる 問題
 小さい 意見 友 捉える 多面的 課題 教科
 よい 問い 模索 関わる 取り組む 考える 活動
 困難な 生かす 多面的 課題解決 協働
 学習 自他 直面 解決方法 自立 可能な
 見いだす 粘り強い 他者 向ける 受け止める
 行動 素直な 解決 拓く 活かす 深める 図る 場面 良い
 自己 含める 関心 頼れる 豊かな 試行錯誤
 暗い 幸せな



本校職員が考える目指す生徒の姿の捉え

目指す生徒像

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

明るい展望が見えづらいこれからの社会をよりよくしていこうと
今の自分にできることに取り組んでいる生徒



各教科等の授業の姿



あさひのラーニングの姿



あさひのプロジェクトの姿

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

【新たな価値を創造できる資質・能力】

研究紀要 P.10~15

「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした汎用的スキル

ア 問題発見・解決能力

(各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと)

イ 批判的思考力

(多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと)

ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力

(自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなど)

研究紀要 P.24~27

キャリア教育

STEAM教育

「キャリア×STEAM」という新しい学びが必要!

キャリア教育とSTEAM教育を軸にした新たな学び「キャリア×STEAM」

全校研究
テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による

新たな価値を創造できる資質・能力の育成



I : 教科・アプローチ

研究紀要 P.28~29

各教科等の授業

学習指導要領の具現を目指した学習

II : プル・アプローチ

研究紀要 P.22~23
P.30~33

<新設教科>

あさひのラーニング【学際的な学習の時間】

実生活・実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学習

III : プッシュ・アプローチ

研究紀要 P.34~37

あさひのプロジェクト【総合的な学習の時間】

地域や実社会と関わる社会参画型の探究的な学習

教科横断
の度合い

低

高

探究的な学習の捉え

「探究」のレベル	問い	手続	解法
1. 確認のための探究 前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する	✓	✓	✓
2. 構造化された探究 与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する	✓	✓	
3. 指導された探究 生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する	✓		
4. オープンな探究 生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。			

探究は、いわゆる「身近で切実な問題」を契機に開始され、探究者本人の実感の伴う納得によって終結する

(下線:本校)

※奈須正裕『子供のための授業づくり』(内外教育 令和6年3月号)より

探究的な学習となる「問い」を立てることは重要かつ難しいことである

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の人づくり—』(2022)より

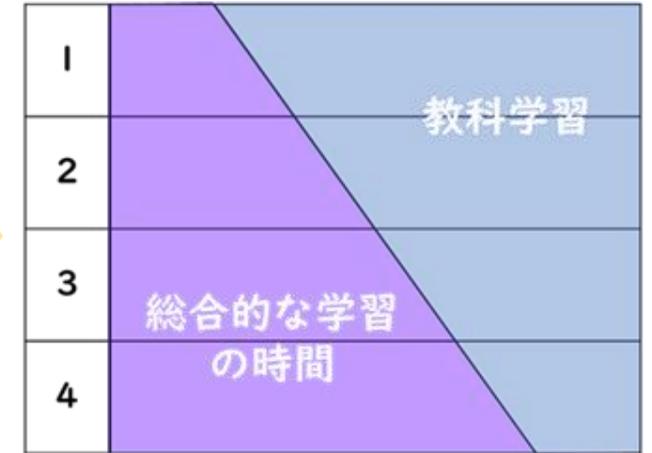
探究的な学習の捉え

「探究」のレベル	問い	手続	解法
1. 確認のための探究 前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する	✓	✓	✓
2. 構造化された探究 与えられた手続きにしたがって、教師が示した問いについて実験する	✓	✓	
3. 指導された探究 生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する	✓		
4. オープンな探究 生徒がデザインまたは選択した手続を用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する。			

※白井俊『探究モードへの挑戦—高度化・自律化をめざすSDGs時代の人づくり—』(2022)より



教科はレベル1、総合はレベル4
レベル2~3は位置付いていない



教科でも総合でもレベル1~4が
位置付いている

本来、探究は、総合的な学習の時間の授業だけでなく、教科の授業にも当てはまるはず

➡ レベル1~4の探究が位置付いている学習が探究的な学習である

「探究の方法論」が身につけば、教科の授業でも総合的な学習の時間の授業でも探究的な学習になり得る

